

<図・写真>



<材料・製作方法等>

- ・ミニ扇風機（ダイソー210円）
- ・ボックス型ミニジャック
- ・平行コード

- ① 扇風機本体カバーをはずし、カバーに6.0mmの穴をあける。
- ② ボックス型ミニジャックにコードをハンダ付けする。
- ③ 本体のスイッチの端子に②のコードの反対側をハンダ付けする。
- ④ 本体カバーにあけた穴にボックス型ミニジャックを取り付け、カバーを元に戻す。

<ねらい>

- 児童生徒の実態に応じたスイッチをつなげることで、本人の身体の動きで、風を必要とした活動を行うことができる。
- 視覚情報が入りにくい児童生徒が、受け止めやすい活動を行うことができる。

<指導方法・留意点等>

【指導方法】

- ・ 児童生徒の実態に応じたスイッチをつなげて使用する。

【留意点】

- ・ 安全のため、扇風機カバーをする。
- ・ 扇風機と対象物やスイッチと児童生徒の身体や視線の適切な位置などを事前に確認しておく。
- ・ 児童生徒が対象物そのものに直接触れて行う学習とスイッチ等を使用して間接的に行う学習のバランスを考える。

<指導経過・成果・課題・展望等>

※ これからの学習で使用していく予定です。

【学習例1】誕生会でのろうそくの火消し

- ・ 教師と一緒にうちわであおぐことに加え、児童生徒の操作しやすいスイッチをつなぎ、扇風機で風を起こし、火を消すことができる。

【学習例2】製作（台紙に紙等の飾りをはる活動など）

- ・ 台紙ののり等をつけておき、小さめ（軽め）の紙等を扇風機の風で動かし、はり絵を作ることができる。

【学習例3】因果関係への気付き

（特に視覚情報が入りにくい児童生徒等）

- ・ スイッチ等を操作した結果として、児童生徒自身が風を受けることで、活動への興味・関心、意欲が高まったり、因果関係への気付きにつながったりする。

